



「ふれあい塾あびこ」が3月13日で閉塾

市内のNPO法人ふれあい塾あびこは、平成12年9月に開塾し、22年6カ月にわたり、民営の市民向け生涯学習講座「ふれあい塾あびこ」を開催してきましたが、3月13日のレクチャーコンサート「トランペットと共に旅をする」を最終講座として閉塾します。

レクチャーコンサート「トランペットと共に旅をする」

市内在住で日本を代表するトランペット奏者の杉木峯夫さん（東京藝術大学名誉教授）と長男の淳一朗さん、次男の馨さんの親子3人によるトランペットの饗宴です。パリや北京など内外各地で開催し「トランペットで活躍する世界でも珍しい音楽一家」と高く評価されています。峯夫さんの「地元の皆さんにも聞いてほしい」という思いから実現しました。詳細は別添のチラシをご覧ください。

◎ふれあい塾あびこ 市内で3番目に設立されたNPO法人で、市民による生涯学習の場「ふれあい塾あびこ」を提供する活動を通して、長年にわたり、我孫子市の市民活動の礎を築き上げた市民団体です。これまでに開催した講座は1,309講座で、我孫子の歴史など、古典・現代文学、内外歴史、各種コンサート、古典芸能、美術館訪問、政治経済解説、健康や暮らしの知恵など多岐にわたり、受講者は延べ約53,000人です。また、この「ふれあい塾あびこ」のノウハウをもとに、平成19年から11年間、市公民館から「市民カレッジ『我孫子を知る』コース」（毎年度12講座）を受託してきました。

◎秋田桂子さん（NPO法人ふれあい塾あびこ理事長）のコメント 運営メンバーの高齢化や後継者不足などにより、閉塾することになりました。熱心にご参加くださった受講者の皆さん、立派な講義をしてくださった講師の皆さん、その他関係者の皆さんに御礼申し上げます。

【問い合わせ】

NPO法人ふれあい塾あびこ 秋田
電話：080-3008-1765

プレスリリース

2023年2月吉日

千葉県我孫子市ご担当
報道各社の皆様

NPO法人ふれあい塾あびこ
理事長 秋田 桂子
携帯 080-3008-1765

「ふれあい塾あびこ」閉塾と最終講座について

拝啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、これまで何かとご支援、ご協力いただいた当法人運営の一般市民向け生涯学習講座「ふれあい塾あびこ」は、諸般の事情により、本年3月13日を最終講座として、閉塾することになりました。

2000年9月に開塾して以来22年6か月、この間に1309講座を開催し、延べ約5万3000人の方に受講していただきました。また、2007年度から11年間は、我孫子市公民館委託の「市民カレッジ『我孫子を知る』コース」(毎年度12講座)を開催しました。いずれもひとえに受講者、講師をはじめとする関係各位のご協力、ご支援の賜物です。

報道各社には、2000年9月の開塾時をはじめとして、開塾10周年、開催講座数1000講座の際など、たびたび好意的にご紹介くださいました。ここに、ご参考までに、「22年6か月、1309講座の記録」を添付して講座実績をご報告申し上げますとともに、改めて厚く御礼申し上げます。

なお、3月13日の最終講座は、杉木峯夫東京藝術大学名誉教授とご子息お二人がトランペットを共演してくださるレクチャーコンサートです。海外でも話題の親子トリオによるトランペットの饗宴で、我孫子市在住の杉木名誉教授の「地元の人にもぜひ聞いていただきたい」とのご意向で実現しました。

チラシを同封しますので、ご紹介などいただければ幸甚です。

末筆ながら、貴社のますますのご発展をお祈りいたします。

敬具

補足資料

「ふれあい塾あびこ」について

・「ふれあい塾あびこ」は、いまから 25 年ほど前に、我孫子市内のシニア世代の男性 17 人が「何かわれわれにもできる市民活動を」と、勉強会などで検討、うち 15 人が運営団体を結成して開設したものです。当初は任意団体でしたが、平成 13 年 3 月、我孫子市で 3 番目の NPO 法人になりました。

・開塾は平成 12 年 9 月 11 日、講座は市内の川村学園女子大学の斉藤哲瑯教授（当時）による「生涯学習について」で、受講者は 13 人でした。以来 22 年 6 か月、今回の最終講座で総講座数は 1309 講座になります。当初は常連の受講者対象の講座が大半でしたが、平成 17 年から広い会場を確保して開催する公開講座を逐次拡大、平成 25 年からはすべてを公開講座としました。

・内容は地元我孫子の歴史など、古典・現代文学、内外歴史、各種コンサート、古典芸能、美術館訪問、政治経済解説、健康や暮らしの知恵などまで、一般市民、特にシニア世代の方々に関心を持っていただけるテーマを広く追求しました。



・ご登壇いただいた講師は 300 人を超します。大学の現、元教授、郷土史家、音楽家、ジャーナリスト、弁護士、専門医など各分野の権威がご協力くださいました。



この中には、市内在住の小説家坂上弘氏の紫綬褒章受賞記念講演会、川村学園女子大学教授故若桑みどり氏の大仏次郎賞受賞記念講演会、市内在住の元最高裁判所長官山口繁氏の特別講演、世界的なヴァイオリン奏者天満敦子さん、ヨーロッパで売り出し中の我孫子出身オペラ歌手佐藤康子さん、フランス・ストラスブール管弦楽団コンサートマスター本田早美花さんのコンサートなど、注目される特選講座も開催しました。

・これらの講座・催しへの延べ受講者数は、公開講座の拡大とともに大幅にふえ、総数は約 5 万 3000 人となっています。我孫子市内だけでなく、近在市、さらには東京都内などからの常連受講者も増えています。

・また、当法人は、「ふれあい塾あびこ」以外に、その体制、ノウハウを生かして、平成 18 年に我孫子市が全国で初めて開始した「提案型公共サービス民営化制度」に「市民カレッジ『我孫子を知る』コース」で応募、翌平成 19 年度からの第 1 陣 3 事業の一つとして受託しました。以後平成 29 年度まで 11 年度間、我孫子市公民館から継続受託して、総計 389 人の市民が、毎年度 12 講座の受講を通じて、我孫子の歴史と現状を知り、地域活動の大切なことを学んでくださいました。

・閉塾の最大の理由は、運営スタッフの高齢化と、それをカバーすべき後継スタッフの登場がここ数年低調なためです。

以上

ふれあい塾あびこ最終講座

#レクチャーコンサート

“トランペットと共に旅をする”

最終回

海外でも話題の親子トリオ、我孫子で初演！



杉木 峯夫 (東京藝術大学名誉教授) (中央)

ピアノ 西川 幾子

杉木 淳一郎 (新日本フィルハーモニー交響楽団、昭和音楽大学講師) (左)

杉木 馨 (台湾・長榮交響楽団、実践大学、東呉大学講師) (右)

＜演奏予定曲目＞

テ・デウム/M.A.シャルパンティエ
アイ・リメンバー・クリフォード/B.ゴルソン
三つのステップ/R.ベルトウロ
アーバンファンタジー/J.B.アーバン
アヴェ・マリア/G.カッチーニ ほか

※都合により演奏曲目が変わることがあります。

2023年3月13日(月)15:00～16:30

我孫子市生涯学習センター(アビスタ)ホール

参加費:1000円(当日申し受けます) 定員:140名(事前申込みの方優先)

電話 080-1364-0371 必ずお名前と電話番号又はメールアドレスをお伝えください。

申込み先:メール fureaijukuabiko@gmail.com 又は fureaijukuabiko@docomo.ne.jp

◆当方より特に連絡の無い場合は、どうぞお出てください。◆講座内容の録音や録画、写真撮影、他の媒体への配信はお断りいたします。◆この情報は当塾の公開コンサートご案内のみに使用させていただきます。

主催:NPO法人ふれあい塾あびこ

(ふれあい塾あびこについては右のQRコードをご参照ください)



お知らせとお願い ・新型コロナの感染予防のための規制のうち、アビスタホールの定員規制は解除されました。・その他の規制はなお当分従来通りとのことです。入館時のアルコール消毒への協力とマスク及びスリッパ持参をお願いいたします。・緊急事態宣言が再度発令されるなど、事態が急変した時は、講座の中止ないし実施要領の変更などがありうることをお含みおきください。

裏面をご覧ください

このコンサートについて

わが国を代表するトランペット奏者によるこのシリーズの最終回です。過去3回、ご長男淳一朗氏との息の合った親子演奏が好評でしたが、今回はご次男で台湾の一流交響楽団でご活躍の馨氏が加わり、親子3人の強力トリオによるトランペットの饗宴です。

このトリオ演奏はすでにパリ、北京ほか内外各地で開催され、「トランペットで活躍する世界でも珍しい音楽一家」と高く評価されています。我孫子市在住の杉木峯夫先生の「地元の皆さんにも聴いていただきたい」というご意向で、実現することになりました。

楽器や最近の演奏活動などについてのお話もお楽しみください。

プロフィール

杉木 峯夫 Mineo Sugiki (トランペット)

1945年富山市生まれ。1970年に東京藝術大学卒業。仏政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院に入学。トランペットを中山富士雄、P.ティボー、M.アンドレ各氏に師事し、「モーリス・アンドレと弟子たち」によるレコーディングにも参加した。1972年パリ国立高等音楽院を一等賞で卒業、同年10月から国立リヨン管弦楽団に入団。1975年札幌交響楽団、1986年東京藝術大学助教授・教授、2009年東京藝術大学演奏芸術センター長。この間、水戸室内管弦楽団、サイトウ・キネン・オーケストラ、紀尾井シンフォニエッタ東京などで演奏活動、札幌・山形・富山・パリ・北京で「親子3人のトランペトリサイタル」も行った。1987年「富山賞」2021年「文化庁長官賞」受賞。現在、東京藝術大学名誉教授、愛知県立芸術大非常勤講師、紀尾井ホール室内管弦楽団桂冠演奏家、日本トランペット協会会長、清水寺・世界友愛100本のトランペット演奏会音楽監督、陸前高田希望のトランペット音楽監督、札幌 PMF パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会評議員、日本演奏連盟専務理事。我孫子市在住。

杉木 淳一朗 Junichiro Sugiki (トランペット)

1971年パリ市生まれ。父、杉木峯夫の手ほどきにより8歳よりホルネットを始める。東京藝術大学音楽学部卒業、同大学院修了。1993年～96年新星日本交響楽団(現東京フィルハーモニー交響楽団)に所属。1996年よりフランス政府給費留学生として渡仏、パリ国立高等音楽院にてプルミエ・プリ(mention tres bien)を取得し卒業。第10回日本管打楽器コンクールトランペット部門3位受賞。トランペットを故ピエール・ティボー、クレモン・ガレック、北村源三、故関根剛二、杉木峯夫、諸氏に師事。2004年より新日本フィルハーモニー交響楽団に所属。昭和音楽大学および尚美ミュージックカレッジ専門学校非常勤講師、紀尾井ホール室内管弦楽団メンバー。室内楽やソロでも活躍。我孫子市在住歴37年。

杉木 馨 Kaoru Sugiki (トランペット)

1973年フランス・リヨン市生まれ、久寺家中学校吹奏楽部でトランペットを始め、常総学院高校、東京藝術大学音楽学部。在学中から都内のオーケストラや金管五重奏の活動を行う。1995年日本管打楽器コンクール及び1996年第65回日本音楽コンクール入選、東京藝術大学安宅賞受賞。1997年同大学卒業後フランス・ルエイユ・マルメゾン音楽院へ入学、2001年審査員全員一致一等賞で卒業した。2006年から台湾・台北市長榮交響楽団首席トランペット奏者としてオーケストラ、室内楽、ソリストとして活躍中。北村源三、関山幸弘、故ピエール・ティボー、エリック・オービエ、杉木峯夫の諸氏に師事。実践大学及び東呉大学非常勤講師。

西川 幾子 Ikuko Nishikawa (ピアノ)

京都府立北稜高校を経て、東京藝術大学卒業。筑波大学附属駒場中・高等学校にて講師を務めた後、ピアニストとして活動。クオリティの高い音楽イベント、ファッションやジュエリーとのコラボレーション音楽のプロデュース、映画でのピアノ演技指導や劇中クラシック曲のアドバイザーをつとめている。「ふれあい塾あびこレクチャーコンサート」での共演は2020年2月以来となる。

ご挨拶

このコンサートは、2000年9月開塾のふれあい塾あびこの最終講座です。開塾以来22年6か月間の講座数は1309回となります。長い間のご支援、ご協力に厚く御礼申し上げます。

NPO 法人ふれあい塾あびこ
理事長 秋田 桂子